

出雲市のみなさんぜひお気軽にご参加ください

出雲市民フォーラム

# 島根大学病院の 最新治療 2024 夏

健康維持にお役立て  
いただくことを目的とした  
フォーラムを開催  
いたします。

入場  
無料

テーマ  
1

## 乳がんの最新治療

～乳房をきれいに残す手術と

目覚ましい薬物療法の進歩～

乳腺センター  
診療教授

かどや たかゆき  
角舎 学行



テーマ  
2

## 精緻ながん手術への挑戦

～ロボット支援下

消化器がん手術の現在～

消化器外科  
講師

てつ  
山本 徹



テーマ  
3

## がんゲノム医療による

個別化治療の推進

臨床遺伝・  
ゲノム医療センター  
教授

ひろまさ  
山本 寛斉



開催日時 令和6年

7月7日 日 13時30分～15時30分  
(受付開始 13:00～)

会場 島根大学医学部 臨床小講堂

入場料 無料 定員 120名

申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申  
込ください。メールや電話によるお申込みも受け  
付けております。

申込先・お問合せ先 島根大学医学部総務課

主催 島根大学医学部附属病院

### Access Map



- ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒など感染症対策にご協力ください。
- 発熱、咳などの症状、またその他体調不良の方はご来場をお控えください。

参加申込

Tel 0853-20-2019・2531 Fax 0853-20-2025

✉ mga-koho@office.shimane-u.ac.jp

- 土日祝日は休業日のため、お電話の対応はできかねます。休業中のお申込みはFAX・メールにてお願いいたします。
- 当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、事前の申込みにご協力ください。詳細は裏面にてご確認ください。

申込締切

7月3日(水)

参加者 氏名	ふりがな	連絡先	電話番号またはメールアドレス
-----------	------	-----	----------------

※駐車場は附属病院駐車場をご利用ください。※ご提供いただきました個人情報は、本フォーラム以外には利用いたしません。

# 市民フォーラムについて —地域で完結する先進医療体制の構築—

当院は、「地域で完結する先進的医療体制の構築」を目指し、県内唯一の医育機関として、多くの医師を養成するとともに、高度で先進的な治療の開発と提供を心がけて参りました。このフォーラムを通じて、出雲市民の方々に「島根大学病院の最新治療」を知っていただき、皆様の健康維持にお役立てくだされば幸いに存じます。

島根大学医学部附属病院長 **椎名 浩昭**



## 講演会プログラム

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～ 病院長 挨拶

各25分講演+5分質疑応答

### 1 13:35～ 「乳がんの最新治療

#### ～乳房をきれいに残す手術と目覚ましい薬物療法の進歩～



乳腺センター  
かじや たかゆき  
診療教授 **角舎 学行**

乳がんは、診断、手術、薬物療法の全ての治療過程においての進歩が目覚ましいです。手術においては、新しく保険適応になるラジオ波焼灼療法(小さい乳がんを手術をせずに熱で焼く方法)や内視鏡手術(目立たない小さい傷から乳房を部分切除する方法)などがトピックスです。薬物療法においては、ここ10年間で全てのタイプの乳がんに新しい治療薬が登場しました。特にトリプルネガティブ乳がんと呼ばれるタイプは、これまで化学療法しか治療法がなかったのですが、新たに免疫療法が使えるようになり治療成績が飛躍的に向上しました。これら乳がんの最新治療について、わかりやすくお話しさせていただきます。

### 2 14:05～ 「精緻ながん手術への挑戦 ～ロボット支援下消化器がん手術の現在～



消化器外科  
つ ち  
講師 **山本 徹**

我々、消化器・総合外科学講座で対象としている消化器がんは、主に食道がん、胃がん、大腸がんです。胃がんは、近年減少傾向にあります。食道がんや大腸がんは増加傾向にあり、特に大腸がんは男性では1位、女性では2位と最も身近ながんのひとつとなっています。がんの治療の原則は、確実な切除(病巣とともに周囲のリンパ節をとる(リンパ節郭清))ですが、それ以上に大事なことは、術後も平穏な日常生活が送られることです。そのため、精度が高く、患者さんに優しい手術法の開発が必要です。我々、消化器グループでは、精密な手術を患者さんに提供できるように、消化器がん全般に対してロボット手術が提供できるように取り組んでいます。そこで、近年の我々の取り組みと、ロボット手術の実際について動画を交えて紹介させていただきます。

### 3 14:35～ 「がんゲノム医療による個別化治療の推進」



臨床遺伝・ゲノム医療センター  
ひろまさ  
教授 **山本 寛斉**

「がんゲノム医療」とは、がん患者の腫瘍および正常組織のゲノム情報から、がんの発症や進展に関与する遺伝子異常を同定し、その異常に特異的に作用する薬剤の提供に繋げる医療のことです。がん患者のゲノム情報を調べる「がん遺伝子パネル検査」は現在5種類が保険適用となっており、がんゲノム医療は急速に広がっております。この検査により、これまでは個々のがん標準治療に沿って治療していたものが、がん細胞に起こっている遺伝子変異別に、より効果のある治療、すなわち個別化治療が提供できる可能性があります。実際に治療につながる方はまだ1～2割と言われておりますが、今後更に発展が見込まれます。当院は「がんゲノム医療連携病院」として、患者様にがんゲノム医療を提供しております。

- 15:05～ 全体質疑応答
- 15:30～ 病院長 閉会挨拶

## 会場案内

島根大学  
医学部  
臨床小講堂

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

お車の方は構内の駐車場をご利用ください。

